

## 「お試しアカウント付き並列プログラミング講習会（試行）」実施報告

スーパーコンピューティング部門

2009年9月7日（月）～8日（火）、東京大学情報基盤センター4階413遠隔講義室にて、第6回「お試しアカウント付き並列プログラミング講習会（試行）」が開催されました。

本講習会の新しい試みとして、東京大学内および学外における当センターのスーパーコンピュータの利用を考えているユーザに加え、社会貢献の一環として、高性能計算や並列処理の技術習得を目的にした企業に所属する研究者、技術者の方も受講が可能となりました<sup>1</sup>。

受講者は、大学院生・研究生：1名、研究機関研究員：1名、企業の方：9名、その他：1名の合計12名でした。

1週間有効となるお試しアカウントが与えられ、T2K オープンスパコン（東大版）の利用方法、MPI 演習、プログラム基礎演習、並列アプリケーション開発入門講座が、2日終日の日程で行われました。

当日のプログラムを、以下に載せます。

### ● 9月7日（月）

9：30 - 10：00 受付

10：00 - 12：00 ノートパソコンの設定、テストプログラムの実行など（演習）

（講師：片桐孝洋 特任准教授）

13：00 - 15：00 プログラミングの基礎（分割コンパイル）（演習）

（講師：嶋志田良和 特任助教）

15：00 - 17：00 並列プログラミングの基本（座学）

（講師：片桐孝洋 特任准教授）

### ● 9月8日（火）

10：00 - 12：00 MPI プログラミング実習（演習）

（講師：片桐孝洋 特任准教授）

13：00 - 17：00 MPI による並列アプリケーション開発入門（座学・演習）

（講師：中島研吾 教授）

12名の参加者について、講習会に関するアンケートをご提出いただきました。主要な項目の集計結果を以下に載せます。

---

<sup>1</sup> 企業に所属する研究者、技術者の方は、受講前にアカウント申込書（直属の上司等の署名捺印があるもの）の提出が必要です。詳細は当事業のホームページをご覧ください。

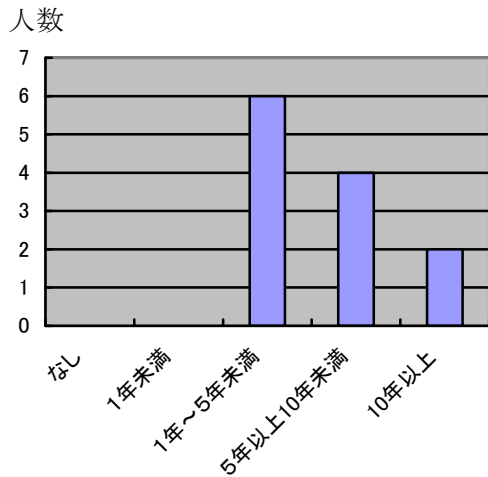


図1 プログラミング歴

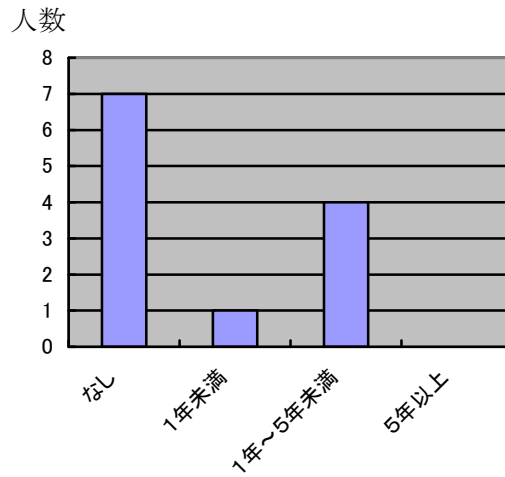


図2 並列プログラミング歴

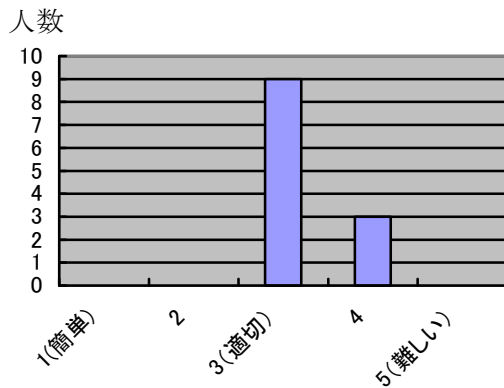


図3 配布資料の内容

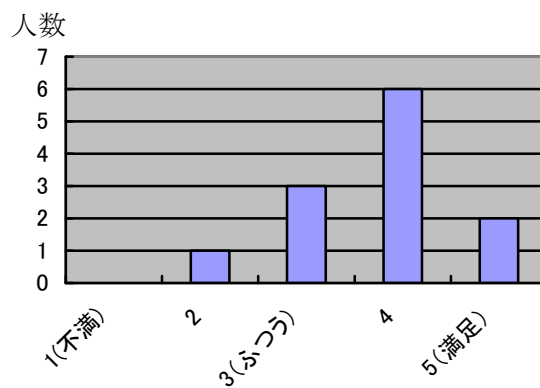


図4 受講した満足度

図4より、平均満足度は3.75です。良好な満足度のご評価をいただいております。本講習会に対するコメントを、以下に載せます。

- 並列化について詳しく説明して頂き、非常に勉強になりました。
- 講習会資料が充実されていて、良い勉強をさせていただきました。
- 実習がある点がよいと思います。時間を短くしたとの事ですが、内容に比べ短く、やはり難しく感じました。アプリのアルゴリズムや並列化の実装について興味がありますので、次回開催では時間／内容を見て参加を検討したいと思います。
- 内容的には非常に良かったと思います。ただ講義のペースが速く、ついていくのが難しかったです。後日、復習して理解を深めたいと思います。ありがとうございました。
- プログラミングの基礎（makeを使った分割コンパイルと並列処理）について、普通のコンパイルに利用するmakeについての資料、プレゼンはわかりやすかったのですが、「makeを使った並列処理」以降の資料、プレゼン内容の説明が大雑把な感じになり理解できなかった。特にGXP makeの役割がはっきりしなかった。
- 2日間しかないせいもあるが、実習の時間を増やしたほうが良いと思う。
- 内容が圧縮されすぎているトピックスも多い気がする。ソースコードなども目を通し

たいと思った。

第8回となる講習会につきましては、2010年3月17日（水）に、情報基盤センター4階413遠隔講義室で実施を予定しています。詳細および講習会への申込みは、以下のホームページでご確認ください。

<http://www.cc.u-tokyo.ac.jp/publication/kosyu/>

以上